

残席わずか

プロジェクトマネージャーのための組織・プロジェクト変革推進時の利害関係者への意識改革 具体的アプローチ（4120106）

◆◆まずは第一歩！小さなムーブメントをあなたが起こす！
プロジェクトマネージャーのための
組織・プロジェクト変革推進時の利害関係者への意識改革 具体的アプローチ◆◆

◆本講座の特徴◆

- 1. 何故、人と組織は変わらないのか、その本質を理解する。
- 2. 個人・チーム・組織が、理論と実例、ケーススタディ（演習）を通して、ムーブメントを起こす意識改革を進める能力開発（成長）を実現する方法を修得する。
- 3. ムーブメント・意識改革をチーム・組織に迫る人は、周囲から攻撃され、孤立は避けられない。その攻撃のリスクを軽減し、前進させる方法を理解し、また攻撃されても変革を進める意義を見出す。

開催日時	2020年9月16日(水) 10:00-17:00
カテゴリー	IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント ヒューマンスキル
講師	中谷英雄 氏 (株式会社ピーエム・アラインメント 取締役 ビジネスコンサルティング部長) PMI認定PMP 2013年 米国PMI最優秀教育プロバイダー認定 スクラムアライアンス認定スクラムマスター (CSM) プロダクトオーナー (CSP0) ＜略歴＞ 1. BIPROGY (旧：日本ユニバック) (1983年～) 2. 三井住友信託銀行 (旧：三井信託銀行) (1990年～) 3. ピーエム・アラインメント (2006年～現職) ・主に金融IT大規模プロジェクトのPMO支援に従事。 ・その後大学院でデザインマネジメントを学び、社会課題の解決、金融商品の開発等でデザイン、アート、顧客体験等を活用。 ・現在、新事業創出、デザイン戦略、イノベーションとDX推進に関わる諸テーマを中心に、コンサルティング活動、教育活動を展開している。 ＜研究会活動＞ ・PM関連：PMIJ会員(アジャイルPM研究会会員、プログラムマネジメント研究会会員) ・イノベーション関連：JUAS (イノベーション研究会会員JIIP3) PMIJ会員(ソーシャルPM研究会) ・震災復興関連のNPO向けに、イノベーションプロセスの活用支援展開中 ＜PM関連書籍著＞ 監修 PMI 日本支部 「PMツールの実践的活用」プロジェクト 翻訳メンバー PMIプログラムマネジメント標準 第2版
参加費	J U A S 会員/ITC：33,800円 一般：43,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	プロジェクトマネージャー、リーダーシップ発揮が要求されている方 中級
開催形式	講義、グループ演習
定員	15名
取得ポイント	※PMP資格取得者の方へPDU取得修了書、これからPMP資格を目指す方には、 「受講証明書」を発行いたします。8PDU取得（スキルエリア：リーダーシップ） ※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

現在、システム部門、情報システム子会社、ITベンダーを取り巻く環境は、激変しています。IT要求が、二極化しています。

既存の大規模システムに対する技術面の老朽化対応、システムの肥大化・複雑化対応、ブラックボックス化対応は、待った無しの経営課題です。その大規模システムの維持管理コスト削減の要求は、高まるばかりです。

一方、IoT・ビックデータ・人工知能・フィンテック等の新しいデジタル技術への適応、アジャイル（JUST IN TIME）への適応等、かつてやった事がない技術をチーム・組織に適応することが、企業生き残りの条件として経営に突きつけられています。言葉を変えると、個人・チーム・組織・企業として、スキル、ロール（役割）の変化（グローバル対応）が求められています。

但し、多くの心理学者の研究では、「必要だと分かっている、85%の人が行動すら起こさない。人は、変化を嫌う。」という報告が言

い尽くされています。

その中で、あなたが企業文化を変える・組織を前進させるムーブメントを起こすプロジェクトマネージャー（PM）だとすれば、あらゆるチーム・組織から攻撃を受け、締め出される事になり、経営から託された変革は失敗することになります。あなたは、PMとして目標を達成するために、まず自分自身の意識改革、部下、チーム、組織の意識改革の進め方、能力の高め方を理解する必要があります。

変革はトップがやる事と決めず、まずPMご自身のあなたが前に進む必要があるのです。企業文化を変える・組織を前進させるムーブメントを起こすのはあなたです。

本講座では、理論と事例、ケーススタディの演習を通して、本当の意味で意識改革・ムーブメントを進める能力開発（成長）を実現する方法を修得して頂きます。具体的には、「変わりたくても変わらない」という心理的なシレンマの深層を掘り起こす「免疫マップ」手法、そして、不確実性の中で意思決定を下す上で関係者を納得させ、成功の確度を上げる「β 1 0 0 プロト」という手法を理解して頂きます。

現在、デジタル時代の技術要素（人工知能、IOT、フィンテック等）を取り入れてムーブメントを起こす必要があるPM、あるいは、その技術要素を実現する上で必要となる様々な最新のフレームワーク（アジャイル、デザイン思考、リーンスタートアップ、ポートフォリオ、プロジェクトマネジメント、プログラムマネジメント、ビジネスアナリスト等）を適用する必要があるPMにとって必見の講座です。

◆内容・スケジュール◆

【午前】

第1章 最前線のリーダーシップ

1. 1 リーダーシップには危険がいっぱい

演習1：リーダーシップとは何か？

1. 2 リーダーシップを発揮しながら生き延びる方法

演習2：迫りくるリスクに備える

1. 3 それでも、リーダーシップ発揮する必要があるのか、原点、心を見つめる

演習3：信頼関係を築く

第2章 不確実性の中で意思決定を下す方法

2. 1 「β 1 0 0 プロト」でステークホルダーを納得させる

2. 2 社内説得に欠かせない3つの要素

2. 3 「β 1 0 0 プロト」の事例を映像で観察する

【午後】

第3章 なぜ、人と組織は変わらないのか

3. 1 個人や組織は本当に変わるのか？

3. 2 “変わらない” 本当の理由

3. 3 変革を実践するプロセス

演習4：改善目標を設定する

演習5：阻害要因、裏の目標、強固な固定概念を見つける

演習6：改善シナリオを策定する

3. 4 何故、日本企業は、改革でなく変革が出来ないのか？

第4章 変革のリーダーシップ

4. 1 8段階変革プロセス

4. 2 自組織に変革を起こす

演習7：危機意識を生み出す

演習8：組織変革の課題は何か

演習9：変革プロジェクトのビジョンと戦略を策定する

おわりに

・何を、学んだか？

・何が、活かせるか？

◆過去参加者声◆

・人を動かすために必要な事（技術・文化の切り分け）が知れ、実践的な内容であった。
知りたいことがわかり、大変満足している（製造）

- ・ 上位組織への変革アプローチを説明してくれるセミナーは、とても少ないので貴重（金融）
- ・ これまで受講したことのない内容の 세미나であり、大変いい刺激になった（インフラ）
- ・ 個人・チーム・組織、それぞれの側面でアプローチの仕方を学べ、実践的（IT）